平成２９年度第４回旭川市子ども・子育てプラン見直し検討部会　議事概要

○開催日時
　平成２９年７月２７日（木）　１８：３０～１９：２０
○開催場所
　子ども総合相談センター　２階　研修・会議室
○出席委員（７名）
　石河委員，斉藤委員，佐々木委員，佐藤委員，鈴木委員，武田委員，宮﨑委員
○欠席委員（２名）
　上原委員，大橋委員
○事務局（１２名）
　子育て支援部　品田部長，竹内次長
　子育て支援課　子育て企画係　田村補佐，村上主査，岩本
　こども育成課　飯森課長，金主幹
　　こども育成係　田上係長，小久保
　　保育給付係　　上田係長
　　こども事業係　工藤係長
　子ども総合相談センター　石原所長
○傍聴者（０名）

○議事概要

１　開会
２　議事
（１）協議事項
　≪協議事項ア　教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制について≫
　　答申案について事務局から説明。

【冒頭部分】

●　意見等なし。事務局（案）のとおりとする。

【付帯意見１】

（A 委員）
・プランの中間見直しにおいて，１号の確保策については，他の自治体でも変更しないという声を聞くが，行政として共通の考え方のようなものがあるのか。

・兄弟で保育所に入所する場合，下の子では育休をとっているが，上の子については保育所に預けたいという保護者も増えており，ニーズは変化してきている。捉え方は難しいが，ニーズ調査についてはそうした変化も把握できるよう，適切な項目で実施してほしい。

（事務局）

・他の自治体の考え方は把握していないが，旭川市では幼稚園の充足率が７割程度となっており，１号は全体として供給量が賄われていると考えている。

● 事務局（案）のとおりとする。

【付帯意見２】

● 意見等なし。事務局（案）のとおりとする。

【付帯意見３】

（A 委員）

・子育て支援ナビゲーターの現状での費用対効果はどうか。

・今後，人口減少していく中でのナビゲーターの果たしていく役割はどうなるのか。

（事務局）

・費用対効果について，数値として提示できるものはないが，利用調整後にナビゲーターが，不承諾となった保護者に空きのある施設を紹介しフォローアップすることで待機児童解消にもつながっている。また，地域子育て支援センターを巡回するなどの取組を行っており，その中では，保育所の入所に関する仕組みそのものの問い合わせについて説明を行うなど，保護者のニーズに添った対応をしていることから，ナビゲーターを配置する効果は一定程度あると考えている。

・今後も，保育所の紹介や様々な相談等への対応に取り組んでいきたいと考えている。

（B 委員）

・現状でもナビゲーターは，待機児童対策だけではなく，保育所の入所にかかる全般的な相談にも対応しているように感じている。

（A 委員）

・ナビゲーターの役割は，保育現場にはあまり見えてこない。保育所での取組は毎年同じではないので，ナビゲーターには各保育所を定期的に訪問するなどして，行政的な情報以外にも，保育所が独自で取り組んでいる取組など，保護者が求める情報を収集し提供してほしい。

● 事務局（案）のとおりとする。

【付帯意見４】

● 意見等なし。事務局（案）のとおりとする。

【付帯意見５】

● 意見等なし。事務局（案）のとおりとする。

【全体を通しての意見】

（A 委員）
・ニーズ調査については，対象の選定や聞き方を間違えると求める結果が得られないこともある。事業によっては，対象を絞り込むなどして，別な手法を用いてニーズを把握することも検討してほしい。事業を実際に利用している人のニーズを聞くことで実効性が高まるのではないか。
（事務局）
・現プラン策定時にもニーズ調査で対応できない部分について追加で調査を行った例がある。時期プラン策定に当たっても本日の意見を踏まえ対応していきたい。
（C 委員）
・ニーズ調査の手法そのものについても，少し見直す必要があると考える。

３　その他

４　閉会